

H25年産 オクラ生産履歴記帳簿

(作型:ハウス, トンネル, 露地) 該当する作型に○をつけましょう。

集荷場
氏名

個人情報保護のため
掲載を見合わせます

【ほ場】

	ほ場字地番	面積	は種日
1	420 3760-1	6 a	3/5
2	場1次6丁目	8 a	3/5
3		a	
4		a	
5		a	

農薬を使用する際は、必ず適正使用基準に基づき正しく使用し、生産履歴記帳に努めましょう。

【管理作業】

実施日	主な管理作業
2/13	苦土石灰(120kg)
/	ヨーリン(kg)
2/24	堆肥(品名: みのり 600kg)
2/24	基肥(品名: オクラ配合 100kg)
5/17	追肥1回目(品名: 4代田 60 kg)
5/20	追肥2回目(品名: NK2号 60 kg)
6/25	追肥3回目(品名: BBNK45 60kg)
/	追肥3回目(品名: kg)
/	
/	
/	
/	
/	
/	

【土壌消毒】

農薬名	10a当たり 使用量	使用時期	使用回数	ネマトリン剤							消毒日		
				ネマトリン剤	ネマトリン剤	ネキリ虫	ハリガネ虫	幼虫	コガネ虫類	苗立枯れ病		立枯病	半身萎凋病
クロールピクリン	3ml/1穴	-	1										1/15
ソイリオン	20~30g (1穴2~3ml)	作付の 10~15日前まで		◎	◎					◎			
ダブルストッパー	30g (1穴 3ml)	作付の 10~15日前まで		◎	◎					◎			
テロン	15~20g (1.5~2ml/1穴)	作付の 10~15日前まで	1	◎	◎				◎				1
ネマトリンエース粒剤	20kg/10a	は種前									(全面土壌混和)		
ネマトリン粒剤	30kg/10a	は種前									(全面土壌混和)		

【収穫作業】

5月14日 ~ 月 日

この記帳簿は県農薬使用の手引き等に基づき、平成24年12月末現在において湯通堂青果で作成していますが、生産履歴記帳を推進するためには作成したものであり、使用できるすべての農薬を記載したものではありません。農薬の使用に際しては、使用するもの自らの責任において、正しく使用することが法律において義務づけられています。農薬の登録変更等もあることから、ラベルや注意書きをよく読んだ上で、正しく使用してください。

殺菌剤

野菜類で登録	農薬名	成分名	使用量 希釈倍数	ま何(使用 で日(収期 前) 前穫 時	使用 回数	病 う ど ん こ	苗 立 枯 病	か び 病	灰 色 病	葉 枯 病	葉 斑 病 (黒斑病)	葉 す ず 病	農薬散布日								
													1	2	3	4	5	6	7	8	9
○	硫黄粉剤50	硫黄	3kg/10a	—	—	◎	ハダニ類にも登録						/	/	/	/	/	/	/		
○	イオウフロアブル		500~1000倍	—	—	◎								/	/	/	/	/	/	/	
○	インプレッション水和剤※	パチルスズ ブチリス	500~1000倍	発病前から発病初期まで	—	◎		◎					/	/	/	/	/	/	/	/	
○	ポトキラー水和剤※		1000倍	発病前から発病初期まで	—	◎		◎						/	/	/	/	/	/	/	/
○	カリグリーン	炭酸水 素カリウム	800~1000倍	収穫前日まで	—	◎							/	/	/	/	/	/	/	/	
			800倍						◎						/	/	/	/	/	/	/
○	ジーファイン水和剤	炭酸水素ナ トリウム・銅	750~1000倍	収穫前日まで	—	◎							/	/	/	/	/	/	/	/	
○	ハーモメイト水溶剤	炭酸水素 ナトリウム	800倍	収穫前日まで	—					◎			/	/	/	/	/	/	/	/	
			800~1000倍				◎								/	/	/	/	/	/	/
○	コサイドボルドー	銅	1000倍	—	—	斑点細菌病で登録						/	/	/	/	/	/	/			
○	Zボルドー		500倍	—	—	斑点細菌病で登録						/	/	/	/	/	/	/			
○	カスミンボルドー	カスガマイ シン・銅	1000倍	収穫7日前で	計 3 回					◎			/	/	/						
○	カッパーシン水和剤												◎				/	/	/		
	トップジンM水和剤	チオファネー トリアゾール	1500倍	収穫前日まで	3						◎		5/1	6/2	/						←高温時に薬害のおそれがある
	トリフミン水和剤	トリフルミ ドリン	5000倍	収穫前日まで	3	◎					◎		5/10	/	/						
	モレスタン水和剤	キノキサリン	3000倍	収穫前日まで	3	◎	ハダニにも登録						5/10	/	/					←高温時に薬害のおそれがある	
(リゾ外ニア菌)	リゾレックス水和剤	トルクロホス イタール	1000倍	は種時及び子葉展開時	2		◎						/	/	※植穴土壌かん注(150ml/1穴)						
	ロブラール水和剤	イプロジオン	2000倍	収穫前日まで	3					◎	◎		5/2	/	/						
	リドミル粒剤2	メラキシル	10kg/10a	収穫前日まで	3	疫病で登録あり						/	/	/	※株元散布						
	アミスター20フロアブル	アゾキシスト ロリン	2000倍	収穫前日まで	2	◎							6/3	/							
	スミレックスくん煙顆粒	プロシドン	6g/100m ² (床面50m ² × 高さ2m)	収穫前日まで	5					◎			/	/	/	/	/	/	/	/	
(ピシウム菌)	タチガレン液剤	ピロキシニブ サゾール	500倍	は種時~発芽初期	2		◎						/	/	※200ml/株 株元灌注						
													/	/	/	/	/	/	/	/	

※「ポトキラー水和剤」、「インプレッション水和剤」については、湿展性の展着剤を加用し、低温時(10℃以下)の散布は避ける。

※使用時期(収穫何日前まで)欄の前日までは24時間前までに使用。

平成24年12月末現在

殺虫剤

野菜類で登録

農薬名	成分名	使用量 希釈倍数	使用時期 (収穫前日まで)	使用回数	アブラムシ	アザミウマ	ヨトウ	ハスモン	タバコガ	オオコガ	ネキリムシ	農薬散布日				
												1	2	3	4	
アタブロン乳剤	クロルピリフェン	2000倍	収穫前日まで	4			◎	◎				/	/	/	/	
アディオン乳剤	ペルメトリン	2000倍	収穫前日まで	計3回	◎			◎				5/12	6/12	/	(注)株元散布	
ガードベイトA		3kg/10a	は種時～生育初期					◎								
アドマイヤーフロアブル	イタチアザミ	4000倍	収穫前日まで	3	◎	◎						5/11	/	/		
アファーム乳剤	エマメクチン	2000倍	収穫前日まで	2					◎			5/11	/		(注)使用時期(収穫何日前まで)欄の前日までは24時間前までに使用。	
オルトラン水和剤	アセフェート	1000倍	収穫7日前まで	計1回	◎							/				
ジェイエース水溶剤		1000倍	収穫3日前まで		◎											
コテツフロアブル	クロルピリフェン	2000倍	収穫前日まで	2			◎	◎				/	/			
トレボン乳剤	エトキシプロキサ	1000倍	収穫前日まで	3	◎							/	/	/		
モスピラン水溶剤	アセチアザミ	4000倍	収穫前日まで	3	◎							/	/	/		
ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン	6kg/10a	収穫60日前まで	2						◎		/	/		(注)土壌表面散布	
マトリックフロアブル	クロルピリフェン	2000倍	収穫前日まで	3			◎					/	/	/		
ダントツ水溶剤	クロチアニジン	2000～4000倍	収穫前日まで	3	◎							/	/	/		
アクタラ顆粒水溶剤	チアメキサム	2000倍	収穫前日まで	3	◎							/	/	/		
スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	2000倍	収穫前日まで	計2回	◎							/	/			
アルバリン顆粒水溶剤		2000倍	収穫前日まで		◎								/	/		
○	B T 剤	エスマルクDF	発生初期但し収穫前日まで	—						◎		/	/	/	/	
○		ゼンターリ顆粒水和剤			BT	1000倍			◎	◎			/	/	/	/
○		デルフィン顆粒水和剤							◎	◎					/	/
○	サンクリスタル乳剤	300倍	収穫前日まで	—	◎	ハダニにも登録					/	/	/	/	/	/

除草剤	10aあたり使用量	使用時期	使用回数	適用雑草名	散布日
バスタ液剤	バスタ液剤300～500mlに対して 水量100～150ℓ/10a	収穫前日まで	3	1年生雑草	/ / /

←雑草生育期は種前又は畦間処理

展着剤	希釈倍数・使用量	適用農薬名	使用回数	散布日
アプローチBI	5ml/散布液10ℓ(2000倍)	殺虫剤 殺菌剤	—	/ / /

平成24年12月末現在